

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 邑南町教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
※事業計画書「3. 研究主題」と同じ
3. 研究タイトル : 「知りたい やってみたい 伝えたい」を育てる学校づくり
※事業計画書「4. 研究タイトル」と同じ
4. 研究課題 : ①様々なことに興味を示し、「なぜ?」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。
②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。
③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。
※事業計画書「5. 研究課題」と同じ
※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

子ども達が本来持っている「知りたい欲求、学びたい欲求、誰かに伝えたい欲求」を満たし育てる。そのために、小規模校のメリットを最大限に生かし、小規模校だからこそできる多様な体験や徹底した個別指導を通して基礎学力の保障を図る。また、小規模校のデメリットを最小限に抑えるために、近隣の保・小・中学校の子ども達や地域の多様な人たちとの意見交流の積極的な場作りを行う。こうして、教育活動を一層充実させ、魅力あふれるものとし、学校を継続させる方策について研究することを目的として調査研究を行う。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。

(2) 調査研究の実施状況 (平成29年度)

研究課題

- ①様々なことに興味を示し、「なぜ?」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。
②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。
③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。

研究課題に沿った実施状況

4月			
5月			
6月	①ロボット学習 ①ロボット学習 ①理科学集会 (5・6年)	坂根悦夫氏 来校 坂根悦夫氏 来校 松本一郎氏 来校	1日 6 6
7月	①理科学習会 (5・6年) ①理科学習会 (学校田の観察、顕微鏡の使い方) ①ロボット学習 ①地域の方との外国語活動 (3年) ②読書郵便交流 ①東屋ごぼう農家見学 (3年)	松本一郎氏 来校 内藤富夫氏 来校 坂根悦夫氏 来校 邑南町ALT 市木小学校	4 6 6 7 19
8月	①QUテスト分析(3～6年) ①ロボット学習	坂根悦夫氏 来校	31
9月	少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業推進会議 (平成29年度第1回) ①邑南町主催辞書引き学習授業研究会 (1・2年) ①全校辞書引き学習 ①東屋ごぼう農家見学 (3年) ①地域マップ作り (3年) ①ガイド学習交流 ②稲刈り、はで干し、脱穀	深谷圭助氏 来校 深谷圭助氏 来校 古田氏 (邑南町役場) 地域学校	21 5 5 6 8 12 11～21

②保小合同運動会	中学生ボランティア参加	17
①学び合い授業（1年 国語）	山下政俊氏 来校	21
①家庭学習の手引き改訂、配布		

10月	①ロボット学習 (公民館)	坂根悦夫氏 (てごねっと)	5
	①アイマスク体験	植田さん (邑南町社会福祉協議会)	11
	②ミニバス練習試合 (3～6年)	邑南町立石見東小	12
	③木育事前授業	小林圭介さん (邑南町教育コーディネーター)	13
	②石見東小との交流学习 (3年)		16
	①ストーリーテリング	ちいさなろうそくの会	17
	②ミニバス練習試合 (3～6年)	邑南町立市木小、高原小	17
	②泥だんご教室 (1～3年)	しまね自然と環境財団 (松本一郎氏)	18
	③神楽笛練習会	瀧田均さん、徳田秀嗣さん	18
	②郡音楽祭 (悠邑ふるさと会館)	邑智郡内小・中学生他、一般	20
	①全校辞書引き学習		23
	③Dr. フォレストからの手紙 (木育)	小林圭介氏、樹冠ネットワーク	23
	③人権・同和教育研修会	国際交流員アロンさん	23
	②家庭科授業 (5・6年)	邑南町立石見中栄養教諭田中美羽先生	24
	③隅屋 (いもほり)	荒木春雄さん	30
	②3校合同理科学習 (6年)	邑南町立石見東小、矢上小	31
11月	小中一貫教育小規模校全国サミット (奈良県) : 大屋		18
	③神楽笛 (クラブ: 4～6年)	瀧田均さん、徳田秀嗣さん	2
	①盲導犬ユーザー石田さん、盲導犬レイとの交流	石田氏 (浜田市)	6
	②矢上高校インターシップ受け入れ	島根県立矢上高校	7
	②矢上高校食の甲子園に向け応援ビデオ送付	島根県立矢上高校	7
	②郡ミニバス大会 (改善センター: 4～6年)		8
	③就学時健診		9
	①邑智病院見学 (5・6年)	邑智病院	10
	①地域の方との外国語活動 (3年)	邑南町ALT	13
	③もちつき	地域学校	14
	③神楽笛 (学習発表会で発表)	瀧田均さん、徳田秀嗣さん	25
	①学び合い授業 (6年: 理科)	山下政俊氏 来校	28
	①図書委員会取り組み (ビブリオバトル)		
③隅屋体験学習 (収穫祭)	鹿野好明さん、荒木春夫さん	30	
①語彙力検定	協力校: 美郷町立大和小学校、益田市立桂平小学校		
12月	③石見林業見学 (5・6年)	石見林業	1
	③Take off Hinui学習会	岡久陽子氏、公民館、地域住民、行政、近隣企業	5
	①ロボット学習	坂根悦夫氏 (てごねっと)	7
	①「ひぬきっさ」お菓子試食会	食の学校	8
	②合同学習会 (5・6年: 調べ学習など)	矢上小にて石見中学校学校司書	18
1月	先進地視察 (研究開発フォーラム (東京都)) : 寺井		12
	①地域の方との外国語活動 (3年)	邑南町ALT	15
	③「えっさほいさひぬきっさ」東屋ごぼうクッキー作り	食の学校 紺谷さん	20
	①みんなのまちづくりワークショップ、えっさほいさひぬきっさ	地域の方、保護者	17
	③みんなのまちづくり成果発表 (5・6年)	島根県、清國佑二氏	29
	③紙すき材料採取 (5・6年)	寺脇さん他地域の方、公民館合同	11～
2月	先進地視察 (筑波大学附属小学校: 東京都) : 森脇		9・10
	先進地視察 (福岡教育大学附属小学校: 福岡県) : 漆谷		16・17
	先進地視察 (お茶の水女子大学附属小学校: 東京都) : 樋野		23・24
	③紙すき (5・6年)	地域の方、公民館合同	1
	①ロボット交流学習	江津市立桜江小学校	21
	①語彙力検定他校比較	協力校: 美郷町立大和小学校、益田市立桂平小学校	
	①QUテスト分析		
①図書委員会取り組み			
3月	少子化・人口現減少に対応した活力ある学校教育推進事業推進会議 (平成29年度第2回)		
	①理科学習	松本一郎氏 来校	1
	①地域の方への感謝の会	地域の方	9
	③公民館との年間計画作成		

※必要に応じて、適宜、行を追加すること。

※取組内容が公になる資料等がある場合は、適宜添付をお願いします。

※取組内容がわかる頁等からわかる場合は、適宜添付すること。

※本事業から経費を支出した事項（会議・研修会・フォーラム等の開催、視察、調査研究の委託など）については、必ず記載すること。

6.

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>①様々なことに興味を示し、「なぜ?」と問い、主体的に学び、表現する力を育てる。</p> <p>1、主体的な学びを身につけさせる。</p> <p>→「辞書引き」学習の時間を教育課程に位置づける。 昨年度より毎週木曜日朝活動の時間20分間と給食前の約10分間を「辞書引き」学習の時間にあて継続。</p> <p>→地域をフィールドにした体験活動など5回以上</p> <table border="0"> <tr> <td>7/6、10/31</td> <td>理科学習</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/19、9/6、11/21</td> <td>農業の仕事日貫の野菜「東屋ごぼう」を通した学習（見学、収穫）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11/30</td> <td>収穫祭（隅屋体験）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/21</td> <td>みんなのまちづくりワークショップ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1/21</td> <td>えっさほいさひぬきっさ「東屋ごぼうクッキー」で地域の方に喜んでいただく</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2/1</td> <td>紙すき体験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6/1、7/6、8/31、10/5、12/7、2/21</td> <td>ロボット学習</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>→児童の意識調査にて家庭学習時間がのびた児童の割合：80%以上 家庭学習の時間が伸びた児童の割合は80%、自主学習を進める児童の割合は100%（低学年を除く）、読書が好き、概ね好きと答えた児童を合わせると100%に達した。</p> <p>2、表現力を育てる。</p> <p>→「辞書引き学習」の時間において、おもしろい言葉発見など発表の場の設定：80%以上 毎週木曜日朝活動の時間20分間実施。毎回発表の場を設定。 「今日のお気に入りの言葉」を発表する場を設けた。選んだ語句を使って例文を作ったり、知らない言葉は自分の辞書で調べたりしながら言葉を通して交流を重ねた。さらに、今年度に入り、気になる言葉を図鑑で調べてくわしい説明を付け加えたり、写真や地図で可視化したりして短い時間でより詳しく分かりやすく表現しようとする児童が増えた。</p> <p>→発信の時間と場を設定した授業の割合：80%以上 (抜粋)</p> <table border="0"> <tr> <td>1・2年</td> <td>教科や活動を横断的に結び付けて、一日入学での発信</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、学習発表会やポスター、リーフレットなどで発信</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5・6年</td> <td>国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、みんなのまちづくり報告会等で発表</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全学年</td> <td>生き物調べの調査結果や竹林整備に係る学習、地域素材を活用しての学習をまとめて発表</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全学年</td> <td>保護者、地域の方、行政、一般企業とのワークショップ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>全学年</td> <td>国語、学活、道徳などを横断的に結び付け、さらに指導犬ユーザーの方との出会いを通じて、作成したリーフレット等活用し募金活動</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>図書委員会 2学期：ビブリオバトル</p> <p>→自校独自の語彙検定の作成と実施、分析、他校との比較 深谷圭助氏作成の語彙力テストを実施。今年度は、いずれも辞書引き学習を行っていない同規模校（益田市立桂平小学校）と少し人数の多い小学校（美郷町立大和小学校）にご協力いただき比較を行った。</p> <p>その結果、1年生いずれも優位、2年生少し人数の多い小学校にて優位、3年生いずれも優位、4年生なし、5年生少し人数の多い小学校にて優位、6年生いずれも優位という結果であった。少し人数の多い小学校との比較ではどの学年も優位との結果を得た。</p> <p>→言語活動の工夫・改善に努めた研究授業：1人1回以上 本校の授業研究のテーマに掲げ取り入れた。 1・2年担任：国語科：「ガイド学習」を取り入れた。吹き出しを活用し読みを深めた。 3年 担任：算数科：「ガイド学習」を取り入れた。校外学習を設定し、実生活と結びつけて実施。 5・6年担任：理科：一人一台の実験用てこを使い、各自実験。</p> <p>◎全学年で書画カメラや電子黒板を積極的に活用。</p>				7/6、10/31	理科学習			7/19、9/6、11/21	農業の仕事日貫の野菜「東屋ごぼう」を通した学習（見学、収穫）			11/30	収穫祭（隅屋体験）			1/21	みんなのまちづくりワークショップ			1/21	えっさほいさひぬきっさ「東屋ごぼうクッキー」で地域の方に喜んでいただく			2/1	紙すき体験			6/1、7/6、8/31、10/5、12/7、2/21	ロボット学習			1・2年	教科や活動を横断的に結び付けて、一日入学での発信			3年	国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、学習発表会やポスター、リーフレットなどで発信			5・6年	国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、みんなのまちづくり報告会等で発表			全学年	生き物調べの調査結果や竹林整備に係る学習、地域素材を活用しての学習をまとめて発表			全学年	保護者、地域の方、行政、一般企業とのワークショップ			全学年	国語、学活、道徳などを横断的に結び付け、さらに指導犬ユーザーの方との出会いを通じて、作成したリーフレット等活用し募金活動		
7/6、10/31	理科学習																																																						
7/19、9/6、11/21	農業の仕事日貫の野菜「東屋ごぼう」を通した学習（見学、収穫）																																																						
11/30	収穫祭（隅屋体験）																																																						
1/21	みんなのまちづくりワークショップ																																																						
1/21	えっさほいさひぬきっさ「東屋ごぼうクッキー」で地域の方に喜んでいただく																																																						
2/1	紙すき体験																																																						
6/1、7/6、8/31、10/5、12/7、2/21	ロボット学習																																																						
1・2年	教科や活動を横断的に結び付けて、一日入学での発信																																																						
3年	国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、学習発表会やポスター、リーフレットなどで発信																																																						
5・6年	国語、社会、理科、総合的な学習の時間などを横断的に結び付けて、みんなのまちづくり報告会等で発表																																																						
全学年	生き物調べの調査結果や竹林整備に係る学習、地域素材を活用しての学習をまとめて発表																																																						
全学年	保護者、地域の方、行政、一般企業とのワークショップ																																																						
全学年	国語、学活、道徳などを横断的に結び付け、さらに指導犬ユーザーの方との出会いを通じて、作成したリーフレット等活用し募金活動																																																						
<p>3、人間関係力を向上させる。</p> <p>→ロボット学習を通して他校児童や保護者等と交流した回数:2回以上 他校交流を2回計画したが、1回となった。</p> <p>→異学年集団活動：10回以上</p> <table border="0"> <tr> <td>4/11</td> <td>地域クリーン活動</td> <td>9/16</td> <td>保小合同運動会（中学生ボランティア）</td> </tr> <tr> <td>4/24</td> <td>ふるさとひぬいウォーキング</td> <td>10/23</td> <td>親子活動（Dr、フォレストからの手紙）</td> </tr> <tr> <td>5/20</td> <td>奉仕作業</td> <td>11/30他</td> <td>収穫祭（芋苗植え、芋ほり、隅屋体験）</td> </tr> <tr> <td>6/9</td> <td>川の学校</td> <td>12/5</td> <td>Take off Hinui学習会</td> </tr> </table>				4/11	地域クリーン活動	9/16	保小合同運動会（中学生ボランティア）	4/24	ふるさとひぬいウォーキング	10/23	親子活動（Dr、フォレストからの手紙）	5/20	奉仕作業	11/30他	収穫祭（芋苗植え、芋ほり、隅屋体験）	6/9	川の学校	12/5	Take off Hinui学習会																																				
4/11	地域クリーン活動	9/16	保小合同運動会（中学生ボランティア）																																																				
4/24	ふるさとひぬいウォーキング	10/23	親子活動（Dr、フォレストからの手紙）																																																				
5/20	奉仕作業	11/30他	収穫祭（芋苗植え、芋ほり、隅屋体験）																																																				
6/9	川の学校	12/5	Take off Hinui学習会																																																				

7/6 学校田生き物観察
ロボット学習

1/20 えっさほいさひぬきっさ
神楽笛

理科観察学習

→QUテスト満足群に属する児童の割合：80%

3～6年生について年2回のQUテストを実施した。いずれも満足群に属する児童の割合80%を越えた。少人数であっても全体の割合に影響を与える。結果をもとに支援したい。

②大人数の中で自分の考えを堂々と表現したり、友達と一緒に活動したりする力を育てる。

1、自己肯定感を高め、自信を持たせる。

→合同学習や交流活動の実施回数：7回以上

6/15 合同学習会(1・2年：矢上小、矢上公民館)	10/17 ミニバス練習会(4～6年：高原小、市木小)
6/20 おおな子どもの集い(5・6年：元気館)	10/18 泥だんご教室(1～3年：保育所)
6/23 町めぐり合同学習会(3年：口羽小学校)	10/19 郡音楽祭(全校：邑悠ふるさと会館)
7/13 給食交流会(全校：矢上高校生来校)	10/31 合同理科学習会(6年：矢上小、石見東小)
9/16 保・小合同運動会(全校：保育所、中学校)	11/7 矢上高校インターシップ受け入れ(全校：矢上高校生来校)
10/21 ミニバス練習会(3～6年：石見東小)	12/18 合同学習会(5・6年：矢上小)
10/16 合同学習会(3年：石見東小来校)	

※この他、各学年で様々な合同学習や交流活動を行った。

→児童の意識調査(生活アンケート、交流活動後の感想等)

他校交流において一緒に学習したり、活動したりすることが楽しいと答えた児童：89%

他校交流の感想

○年上の人と学習するとワクワクする。(中・高交流)

○教えてもらえる。(中・高交流)

○仲良くなれる(小交流)

○教えてあげられる(保交流)

他校交流において友達に自分の考えや意見を伝えることは楽しいと答えた児童：77%

他校交流の感想

○進学に向けて頑張ることができる。(中交流)

○多くの友達と考え方や方法を交流できる。(小交流)

○納得してもらえる。(高交流)

○わかりやすく説明できる。(保交流)

▼恥ずかしい。(全交流)

▼わかりやすく伝えるのが難しい。あまりわかってくれないと思う。(保交流)

※他校交流においてともに学習したり、行動したりすることには概ねポジティブな結果を得たが、意見を伝えるという点においてネガティブな結果を得た。特に保育所の園児との交流に顕著であった。自分より弱い立場にある人を相手にした時、自我を抑え相手の立場になって物事を考え行動できるという点において、特に課題がある。

→研修の実施3回以上

※研究開発校の発表会、研究授業発表会、最新ICT展示研修会などに教員が分担して出かけた。研修後、報告会の場を設け教職員研修を行った。さらに、研修で得た情報をもとに、学び方(つけさせたい力)の評価方法検討及び、評価システムの構築(ルーブリック作成)、授業や活動での活用を行った。

・研究開発校発表会 ・筑波大学付属小学校 ・福岡教育大学付属小学校 ・お茶の水大学付属小学校

→年間活動計画の作成

年間活動計画を作成し、項目ごとに教職員で仕事を分担し取り組んだ。

学び方(つけさせたい力)の明確化、評価

③地域の教育力の活用による探求型授業を充実し、地域の課題解決に参画しようとする力を育てる。

1、探求型授業を充実させる。

→地域の教育力を活用した授業実施：10回以上

4/24：ふるさとウォーキング：鹿野公民館長、橋本公民館主事	12/1：石見林業見学(総合、国語科)
5/18：たけのこほったろう(竹藪保有者山田さん、瀧田さん、鹿野公民館長、橋本公民館主事)	12/21：竹炭作り：鹿野公民館長、橋本公民館主事、三宅指導主事(総合)
6/2、7/19、9/6、11/20：東さんのごぼう畑見学、収穫(社会科、総合)	1/16、2/1：紙すき材料採取、紙すき(総合的な学習の時間)
9/8：金刀比羅山登山：地区別戦略古田さん(社会科、総合)	1/17：東屋ごぼうを使ったクッキー作り：食の学校紺谷さん、東さん
10/11：アイマスク体験：社協上田さん、農協古田さん(社会科、国語科、総合)	1/20：えっさほいさひぬきっさ：地区別戦略徳田さん、PTA会長森田さん
10/31：合同理科学習(出羽公民館長)	

→公民館との年間活動計画作成

学校での活動は公民館と協力しながら計画を立てた。

2、地域の課題解決に参画

→地域の活動に参加：7回以上

蕎麦に関する活動：8/種まき 11/6 収穫 12/23 そば打ち

米に関する活動：田植え5/1、9/11 稲刈り・はで干し体験 9/29 脱穀 11/14 収穫祭(もちつき) 11/25 餅配り

神楽に関する活動：11/20 日貫大元神楽フェスティバル 10/～各神楽団にて夜神楽に参加

その他：季節の祭り、月一回の放課後公民館活動

→考えをまとめ、新聞等で発信：10回以上

わたしたちのまちみんなのまち（表、地図、絵）	竹について(アンケート)
はたらく人とわたしたちの暮らし（学習発表会、チラシ）	ふるさとひぬいウォーキング（まとめたもの）
もうどう犬の訓練、福祉について学ぼう（リーフレット、募金活動）	「山と生きる」（プレゼンテーション）
生き物しらべ結果まとめ（模造紙にまとめ）	

→公民館との年間活動計画作成

それぞれの年間計画を照らし合わせながら担当者同士が密に相談しながら活動を進めた。

→地域関係者の意識調査

地域関係者への意識調査を行った。探求型授業を通して地域への発信については地域関係者では90%以上、が掲示物などを見て周知していた。地域の課題解決に児童が参画する件については、児童が地域の活動に90%以上が積極的に参加していると感じていた。しかし、地域の課題解決に向け考え、行動していると感じているかという回答は50%しかなかった。

※必要に応じて、適宜、表を追加・削除すること。

(2) 成果物等

- ・ H29年度「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育の推進事業」年間活動計画
- ・ 取り組み内容が分かる資料 3部
- ・ 今年度の研究のまとめ 1部
- ・ ブログ まめわざ HiNui 内 日貫小学校ブログ

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）については、50部添付すること。

※成果物（冊子・パンフレット等の印刷物）の電子媒体がある場合は、併せて送付すること。

(3) 今後の取組予定

- ・ 2年間の取り組みをもとに、小規模校を存続させる場合の教育活動を高度化させる手立てを探る。
- ・ 保小、小小、小中のみならず、町内にある養護学校、高等学校ともネットワークを構築し、より幅広い仲間とのコミュニケーション能力をどんな場合においても発揮できるよう、ループリックをもとに各自評価できるシステムを構築して身につけさせていくとともに、考えたことを行動へと結びつけていけるよう手立てを探り、実行へと結びつける。
- ・ 年度前に年間計画を作成し、[ふるさと]との連携をより深め、探求型授業を充実させ、地域の課題解決に参画しようとする力を育てるとともに、持続可能なまちづくりを目指すべく取り組みを重ねる。

※要点をまとめ、簡潔に記載すること。